

令和8年8月7日(金) 第15期Aコース及びBコース 「リーダーシップ①(リーダー像)」

8月7日(金)、15期生Aコース・Bコースの「リーダーシップ研修①」を実施しました。15期生にとっては、次世代リーダー育成道場で初めて受ける研修です。さらに、研修は全て英語で行われました。研修生は少し緊張した面持ちながらも、講義に耳を傾け、英語でのグループディスカッションに励みました。

リーダーシップ研修は全4回で構成されています。第1回のテーマは「リーダー像」。研修生は、リーダーシップの定義や様々なモデルについて学びながら、自分に合ったリーダーシップについて考えました。



ファシリテーターとともに考えを深めていく

研修は「リーダーシップとは何か」という講義からスタート。講義を聞いた後は、グループでリーダーシップとはどのようなことなのか意見を出し合い、「上に立つ人」だけでなく「支える人」など、様々な在り方があることを確認しました。その上で、Adaptive Leadership、Servant Leadership、Facilitative Leadership、Emergence Leadershipなどのリーダーシップのタイプについて学び、自分にはどのタイプが合っているのかを考えました。また、Responsibility、Communication、Take Action、Listenなど、リーダーに求められる要素についてグループで話し合い、それぞれが目指すリーダー像について考えを深めました。

次に、研修生は「自分の人生を語る」ストーリーテリングに挑戦しました。これまで力を入れてきたことや努力してきたこと、これから挑戦したいことなどを振り返り、自分自身のストーリーとしてワークシートにまとめ、お互いに語り合いました。この活動には、自分の経験を伝えるだけでなく、相手の話に耳を傾け、その人の考えや経験を深く理解することで、リーダーに求められる「聴く力」を身に付けるという狙いもあります。お互いのストーリーを共有することを通して、自分自身を振り返るとともに、自分らしいリーダーシップについて考えを深める機会となりました。

その後のケースディスカッションでは、具体的な場面をもとに、自分ならどのようにリーダーシ

ップを発揮するかについて考え、さらに視野を広げていきました。

ケーストピック①《海外生活（マイノリティ体験）におけるリーダーシップ》

ケーストピック②《地球規模課題に対する人を巻き込むリーダーシップ》

具体的な場面を想定して考えることで、自分らしいリーダーシップをどのように行動につなげていくかについて理解を深めました。

研修の最後には、留学を通してリーダーとして身に付けてほしい力として、Listen with Care「聞く力」、Decide with Responsibility「決める力」、Mobilize with Vision「動かす力」の3つが示されました。

今回の研修を通して、研修生は様々な角度からリーダーシップについて理解を深めるとともに、自分の強みや目指すリーダー像について改めて考えました。これからの留學生活の中で、自分らしくリーダーシップを発揮し、周囲の人と関わりながら社会に貢献していくことについて考える機会となりました。



英語での話し合い



事前課題を基に議論を深める